



## PRESS RELEASE

2019年9月9日

# 麻布大学、小諸市産鹿肉ペットフードで研究協力

## 野生動物マネジメントとペットフードサイクル構築で地域振興を支援

麻布大学(学長:浅利昌男、本部:神奈川県相模原市、URL:<https://www.azabu-u.ac.jp/>)は、野生ニホンジカの資源化と有効利用によって、野生動物と人間が共生できる社会のシステム構築を目指し、小諸市が生産したニホンジカ肉を原料としたペットフード「KOMORO PREMIUM」\*の開発・販売事業の支援を強化します。

本学は小諸市産鹿肉ペットフードの有用性の確認を目的とした臨床試験や安全性調査等を実施してきましたが、今後、ペットフードの新商品開発や、有用菌がイヌの健康維持に関わる研究、さらには野生鳥獣対策に関与する人材育成などでの協力を拡大していく予定です。

麻布大学は、本学獣医学部が動物科学の専門家として、小諸市産鹿肉ペットフードを研究面から支援しており、野生動物マネジメントとペットフードの高付加価値化に協力してきました。

本学は文部科学省私立大学研究ブランディング事業において、2016年度に『動物共生科学の創生による、ヒト健康社会の実現～地球共生系「One Health」～』が採択されました。この研究プロジェクトの1つのテーマとして、獣医学部動物応用科学科の南 正人准教授をリーダーとする研究チームが、「野生動物(シカ)の資源化・有効活用による共生システム構築のための微生物」の研究を行っています。去る7月29日に開催された同研究事業の国際シンポジウムにおいて、本研究に関する成果報告が発表されました。

長野県小諸市では野生ニホンジカによる生態系および農産物の被害が増加していました。その対策として、先進的な野生鳥獣保護管理モデルを構築し、捕獲数の増加・被害の減少を実現しています。小諸市は衛生管理の行き届いた加工施設「小諸市野生鳥獣商品化施設」を整備し、捕獲したニホンジカを新鮮な状態で加工し、良質な鹿肉ペットフードの製造・開発をしています。小諸市の野生動物マネジメントは先進的な取り組みとして、平成28年度鳥獣対策優良活動表彰(団体の部)により、農林水産大臣賞を受賞しています。

この取り組みにより、捕獲後、焼却処分されていたニホンジカはペットフード「KOMORO PREMIUM」\*として有効活用されています。鹿肉は「高タンパク」・「低脂肪」・「鉄分豊富」の三拍子そろった食材として注目されています。



自治体【長野県小諸市】が開発し、専門部【麻布大学獣医学部】が研究を進めているペットフード  
開発から飼育まで、生産者・自治体・消費者の双方にメリットを生み出す。環境向上を目指した麻布大学の取り組みは、長野県も鳥獣被害低減に貢献し、高品質なペットフードを開発・販売する事業に力を入れています。麻布大学獣医学部と共同研究を進め、全道で販売されているペットフードの品質向上を目指して、効果検証が行われています。(麻布大学動物応用科学科研究ブランディング事業)

取扱商品 (オープン価格)	
・鹿肉ウェットフード (内容量 100g)	動物の健康、生活の質を向上させたい。
・鹿肉ジャーキー (内容量 50g)	全てが安心したい。
・鹿肉ドライフード (内容量 100g)	お肉の味をそのまま楽しみたい。
・鹿の肉(おもちや)	お肉の味をそのまま楽しみたい。
・鹿のアキレス腱 (全長 12cm)	お肉の味をそのまま楽しみたい。

お問い合わせ先  
〒201-8585 東京都目黒区青森1-1-1 麻布大学  
小諸研究部 産学連携課 課長 南 正人  
TEL: 0264-24-1700 FAX: 0264-24-9170  
E-MAIL: [research@komoro-nagano.ac.jp](mailto:research@komoro-nagano.ac.jp)  
URL: <https://www.komoro.com/nagano-premium-pet-food/>

※お肉は、ふるさと納税でも送料無料で送付可能です。  
送料は別途お見積りです。  
【送料・手数料】





鹿肉ペットフードはドライフード<sup>®</sup>、ジャーキー、ウエットフードなどに商品化され、麻布大学生協同組合でも販売しています。食欲が高まるなどの評価もあり、愛犬・愛猫家から好評です。本学附属動物病院でも紹介し、関連の獣医師へも推奨して普及を支援していきます。

\* 「KOMORO PREMIUM」は Komoro Premium Venison Pet Food の略称です。

### ●麻布大学の文部科学省私立大学研究ブランディング事業

麻布大学は、文部科学省の私立大学研究ブランディング事業（タイプB：世界展開型）として、2016年度に事業名、『動物共生科学の創生による、ヒト健康社会の実現～地球共生系「One Health」～』として採択されました。

本事業では、ヒトと動物の共生を科学的に解明し、その成り立ちを介してヒトの健康社会に寄与する、という新しい学問領域の創設を目指しています。

同事業では、次の3テーマで現在（2019年度）は8つの研究プロジェクトの課題の研究が行われています。

1. ヒトと動物における認知インタラクション解析：
2. ヒトと動物の微生物クロストーク：
3. 動物との共進化遺伝子の同定：

### <参考資料>

別添、「KOMORO PREMIUM」のチラシ（A4 カラー両面）

<https://www.komoron.com/komoro-premium-for-dogs/>

### <関連情報>

- ・麻布大学 文部科学省私立大学研究ブランディング事業に関して

<https://project.azabu-u.ac.jp/>

- ・国際シンポジウムの開催に関して

[https://project.azabu-u.ac.jp/symposium2019\\_jp.pdf](https://project.azabu-u.ac.jp/symposium2019_jp.pdf)

- ・研究者紹介：

<https://project.azabu-u.ac.jp/system/member.html>

### <本件のお問い合わせ先>

麻布大学 広報課 担当：栗末、有嶋

- ・電話：042-769-2032

- ・メール：[koho@azabu-u.ac.jp](mailto:koho@azabu-u.ac.jp)

- ・HP <https://www.azabu-u.ac.jp/>